

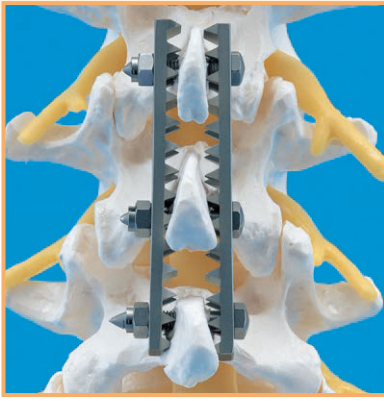
TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

S-Plate

Plate System for Spinous Process Fixation





"in-situ short fusion"に用いる腰椎、 胸椎、頸椎の棘突起プレートです。

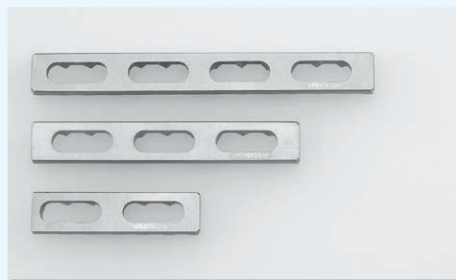
椎間板ヘルニアでのラブ手術や狭窄症での広範囲開窓術後の固定術 (PLF やPLIF)、また、前方固定術後の後方からの補強固定など、種々の術式に使用可能です。

チタン製で、MRIに対応でき、小型、簡易、強固を目指したものです。手術器械も使い易く、少数にまとめてあります。

インプラント

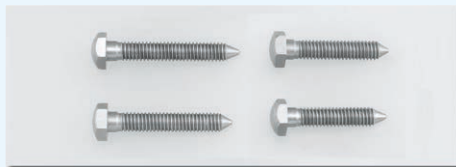
※オプション

■Sプレート



品番	規格・寸法
F00-15-0234	2穴 8 mm × 34 mm
F00-15-0352	3穴 8 mm × 52 mm
F00-15-0468	4穴 8 mm × 68 mm
F00-15-0582	5穴 8 mm × 82 mm ※
F00-15-0698	6穴 8 mm × 98 mm ※

■椎体ボルト



品番	規格・寸法
F00-16-1803	φ 4.0 mm × 18 mm ※
F00-16-2003	φ 4.0 mm × 20 mm
F00-16-2203	φ 4.0 mm × 22 mm
F00-16-2403	φ 4.0 mm × 24 mm
F00-16-2603	φ 4.0 mm × 26 mm
F00-16-2803	φ 4.0 mm × 28 mm ※
F00-16-3003	φ 4.0 mm × 30 mm ※

■ナット

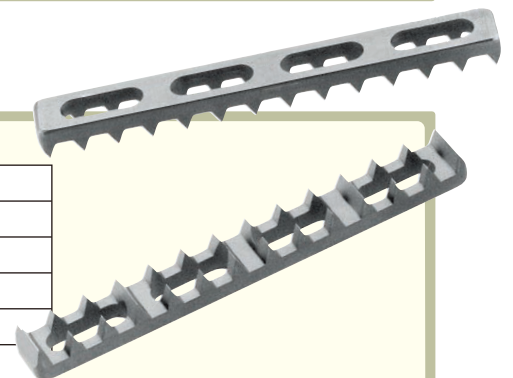


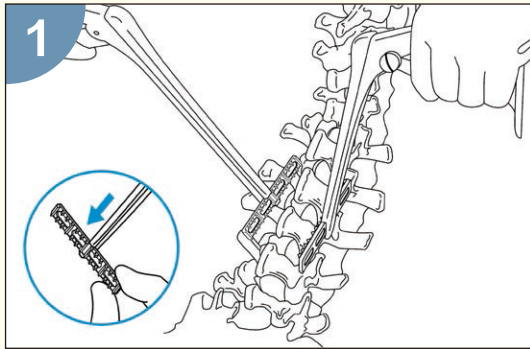
品番	規格・寸法
F00-16-DN	6 mm (ダブルスリット)
F00-16-EN	3 mm ※

医療機器承認番号：21900BZZ00010000

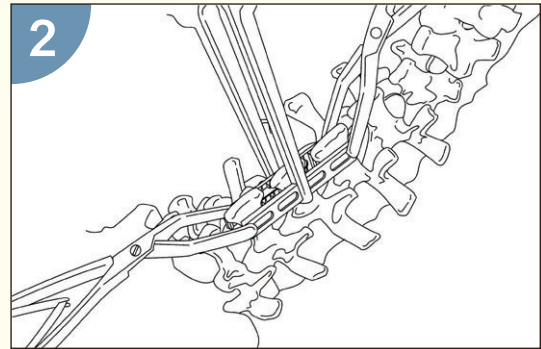
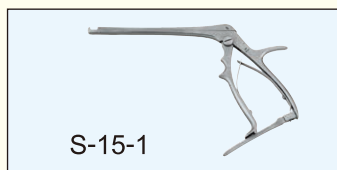
手術器械

品番	名称	品番	名称
S-15-1	プレート把持鉗子	S-15-8-S	丸型オウル小
S-15-2	プレート固定鉗子	S-15-3	オウル挿入鉗子
S-15-7-L	角型オウル大	S-15-4	ボルト鉗子
S-15-7-M	角型オウル中	S-RS-2	ボルトホルダー
S-15-7-S	角型オウル小	S-15-5	ナットホルダー
S-15-8-L	丸型オウル大	S-15-6	レンチ
S-15-8-M	丸型オウル中	S-15-6-L	L型レンチ

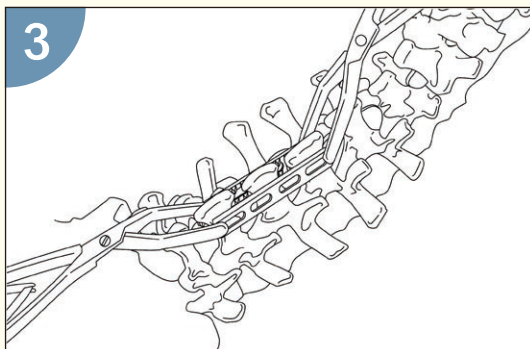




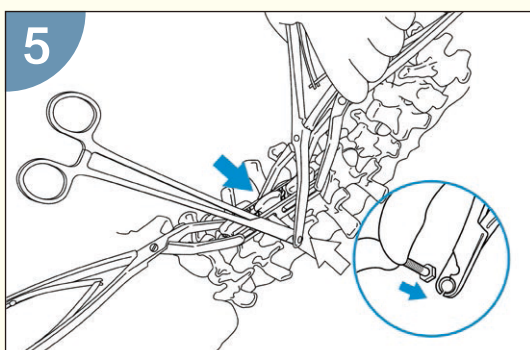
2枚のSプレートをそれぞれ、プレート把持鉗子にて把持し、固定最上位の棘突起の上縁まで覆うように左・右からプレートをあててください。



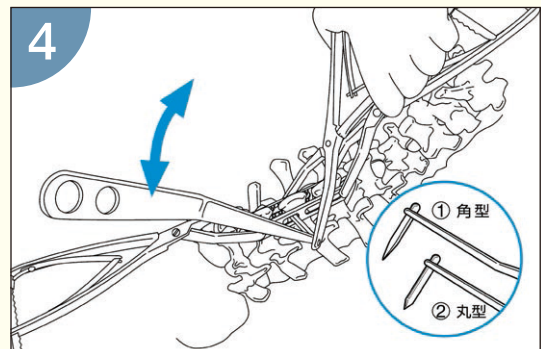
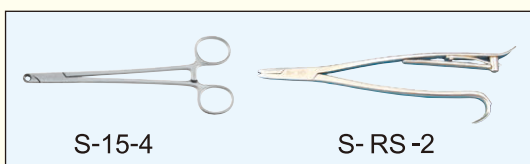
プレート固定鉗子にてSプレートの上下を挟み固定します。



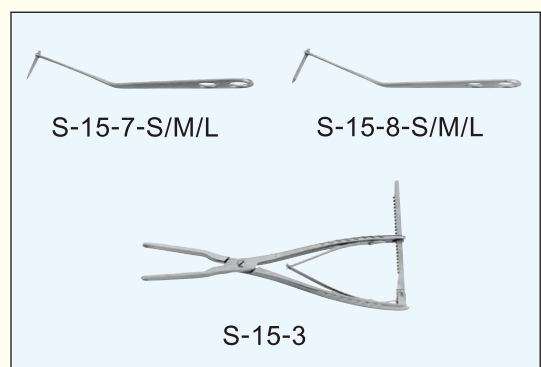
プレート把持鉗子をはずします。

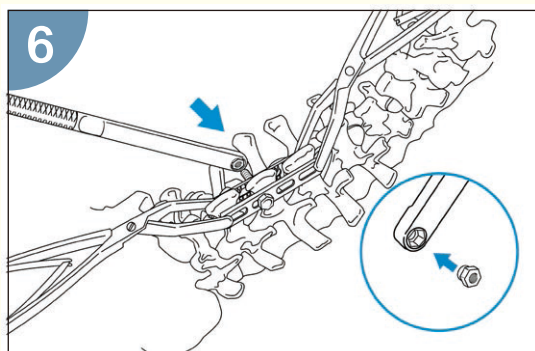


ボルト鉗子又はボルトホルダーにてボルトを把持します。
ボルト鉗子又はボルトホルダーにて付けたボルトをオウル挿入時と同様に挿入鉗子で強くはさみボルトを貫通させます。



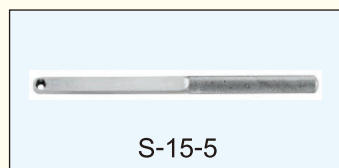
角型オウルを用いて、Sプレートの穴を通して棘突起に穴を開けます。
オウル挿入鉗子で、オウルをはさみ込みながらオウルのハンドルを動かし、オウルを回旋させることにより、容易に穴を開ける事が出来ます。
同じ様にボルトと同じ太さの丸型オウルを使い更に穴を広げ、ボルトを入り易くします。



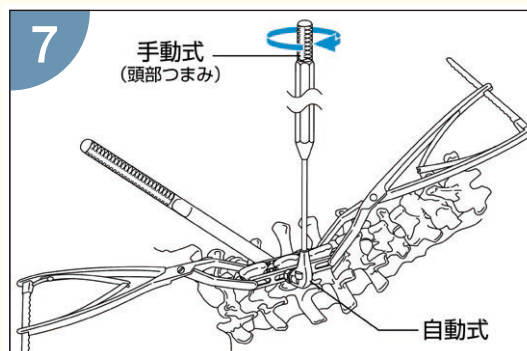


ナットをナットホルダーに装着し、貫通したボルトの先端にあてがいます。

(注)00-16-DNのナットを使用する際には、フランジ部が外側を向くようにしてください。

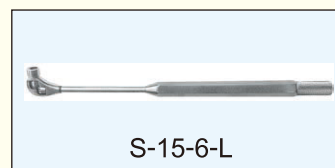


S-15-5

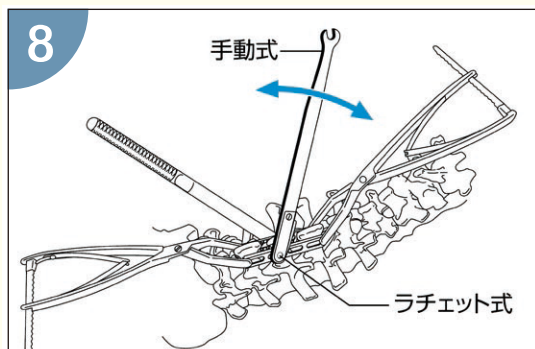


L型レンチの頭部つまみを回す事によりボルトを容易に仮固定させることができます。

(注)最終固定は必ずラチェット式レンチを使用してください。



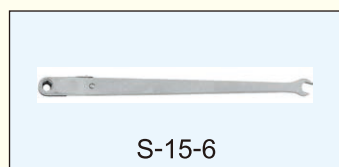
S-15-6-L



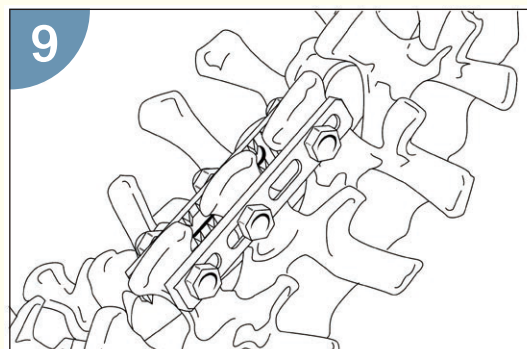
レンチの片方はラチェット式でボルトの頭部を回して素早く締めることができ、片方の手動式で最終の締めを行います。

(注)00-16-DNのナットには緩み防止の為にテーパフランジが付いていますが、ナットを逆回転させた場合、このテーパフランジが広がり、緩み防止機能が損なわれる事がありますので、ご注意ください。

(注)ボルト・ナットの締めすぎにご注意ください。ボルト・ナットを強く締めすぎますと相対するプレートの歯状部が棘突起に深く食い込み棘突起を損傷する可能性があります。



S-15-6



完成図 1椎間で2~3本、2椎間で3~4本のボルトで固定するのが原則です。

Sプレート及びSプレート用ボルト・ナットは、棘突起以外には御使用にならないでください。

※ボルトは棘突起間に使用することもあります。

(「手術手技」に表示される手術器械は、全て株式会社 田中医科器械製作所の届出品です。)

(販売名:Sプレート)
医療機器承認番号:21900BZZ00010000

●禁忌、使用目的、効能又は効果、使用上の注意については最新の添付文書をご覧ください。
●寸法、形状については、改良等の理由により予告なしに変更することがあります。

販売業者

TEIJIN

帝人ナカシマメディカル株式会社

〒709-0625 岡山市東区上道北方688-1
TEL. 086-279-6278 FAX. 086-279-9510

製造販売業者

株式会社 イトー医科器械
[製造販売業許可番号/13B1X10230]
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里6-48-15
TEL(03)3806-2690 FAX(03)3806-2650